

九州地区院生研究会のお知らせ

日本国際政治学会2008年度研究大会から設置されました若手研究者・院生研究者コアの趣旨に基づき、九州地区において若手研究者および大学院生が主体となる研究会「トランスボーダー研究会」を組織し、初めての研究会を下記の要領で開催することとなりました。

九州地区では初めての試みということで不手際な点は多いかと存じますが、みなさまのご支援ならびにご教示を頂きながら、一つ一つ勉強しながら着実に歩みを進めて参りたいと考えております。

ショート・ノーティスで大変恐縮ではございますが、みなさまの多数のご参加をお待ち申し上げます。

第一回トランスボーダー研究会

日時：2009年6月27日（土） 13時～18時（開場12時30分）

場所：九州大学西新プラザ

<http://www.kyushu-u.ac.jp/university/institution-use/nishijin/index.htm>

テーマ：グローバル秩序の理解に向けて

セッション1：グローバル秩序の諸相 - 地域研究 / 歴史研究の立場から

(13時10分～15時25分)

司会：白川俊介（九州大学大学院）

報告：

大和 裕美子（九州大学大学院比較社会文化学府博士課程）

「ローカルな記憶からトランスナショナルな記憶への変容

- 長生炭鉱の水没事故をめぐって - 」

徐 涛（九州大学大学院比較社会文化学府博士課程）

「台頭する中国と東アジア秩序 - 中国の東アジア共同体論を中心に - 」

佐藤 圭史（日本学術振興会特別研究員（北海道大学スラブ研究センター PD））

「旧ソ連空間における非承認国家問題とグローバリズム

- なぜOSCE・国連は紛争解決に有効となりえないのか - 」

討論 平井 一臣（鹿児島大学法文学部 教授）

松井 康浩（九州大学大学院比較社会文化研究院 教授）

セッション2：グローバル秩序に関する規範的アプローチ

(15時35分～17時50分)

司会：森敦嗣（九州大学大学院）

報告：

大庭 弘継（九州大学大学院比較社会文化学府博士課程）

「人道的介入の現場における「秩序」の生成

- DRC（コンゴ民主共和国）の事例を中心に - 」

白川 俊介（日本学術振興会特別研究員（九州大学大学院 DC2 ））

「コスモポリタン民主主義の批判的検討

- 多角的なグローバル秩序の構想に向けて - 」

千知岩 正継（北九州市立大学国際環境工学部 非常勤講師）

「グローバル社会における国連の秩序構築とその正当性問題」

討論 高橋 良輔（佐賀大学文化教育学部 専任講師）

渡邊 智明（九州大学大学院法学研究院 協力研究員）

- 終了後、近場にて懇親会を予定しております。